

思いやりと優しさのある、良質で安全な医療を提供いたします。

# HOKUTO TIMES

社会医療法人北斗会 大洲中央病院広報誌「ホクトタイムス」

No.

53

2018/01



## 謹賀新年

本年も大洲中央病院を  
どうぞよろしくお願ひします。

社会医療法人北斗会 大洲中央病院 理事長 院長 大久保 啓二



新年あけましておめでとうございます。

おめでたい新年のスタートですが、年末に寂しいニュースを耳にしました。お隣の宇和地域の小学校6校を3校に統合する再編計画が進んでいるとのこと。南予は、日本の中でも特に人口減少と高齢化による地域の衰退が進んでいる地域です。地域の活性化には若者人口の増加が必須であり、病医院等医療の充実と地域の活性化は相互補完の関係でもあります。人口減少対策が、今後の地域の最重要課題として継続した取り組みが期待されます。

大洲中央病院の昨年の活動としては、将来の人口動態と医療需要をにらんだ病院体制改革を継続して行ってきました。特に地域包括ケア病棟の拡充は、回復期リハビリ病棟と並んで高齢化社会への対応に大きな役割を果たせることになると期待しています。また、1月には病院機能評価の更新時期となっており、現在全部署で医療設備・サービス体制の再チェックを行っているところ

です。今後も、引き続きより良い医療提供をできるよう努力して参ります。

一方、大洲インターチェンジを降りたところでは、喜多医師会病院の改築工事が着々と進んでいます。5月には新病院での診療が開始される予定と聞いています。大洲喜多地区における医療提供体制の新しい枠組みのスタートになると期待されます。地域社会を含め厳しい1年になると思われますが、本年も引き続きご協力とご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。



## 転倒・転落リスクの視点から 患者さんの環境整備を行っています

Zoom Up!

OozuchuoHospital



【医療安全院内ラウンド】

今号は、2014年に本格的に始動した医療安全対策室の活動についてご紹介させていただきます。医療安全対策室は、当院の理念である「良質で安全な医療の提供」を基盤に、患者さんとそのご家族に「安全・安心」という観点から、質の高い医療を提供するための専門部署として設置されました。この部署には、専任の医療安全管理者（以下GRM）が配置され、組織横断的な活動を行っています。今回は、その取り組みについてご紹介します。

### インシデント報告の収集と分析を行い、再発防止に努めています

現場のスタッフは、患者さんに直接影響を及ぼさなくても、ヒヤッとしたハッとした事象に遭遇します。その時の報告制度として、インシデント報告制度を定めています。患者さんの命を預かる医療の現場でミスは許されませんが、報道されているような医療事故が発生していることも事実です。このインシデント報告制度は、患者さんに影響を及ぼす前にヒヤッとした事象の原因を明らかにし、対策を立てることで医療事故を未然に防ごうという取り組みです。各部署には、医療安全活動推進者としてリスクマネージャーを配置していますが、事例によっては、GRMが直接現場に赴き報告内容を基に現場の状況を確認、関係部署と一緒に原因を分析し対策を検討します。原因には、個人だけの問題ではなく、業務手順や職場環境、他部署との連携等の組織的な問題もあるため、GRMが動くことで速やかに改善策を立てることができます。

また、院内だけでなく院外の医療安全情報も収集し、当院でも起こりうる事例は、「医療安全ニュース」



部署のリスクマネージャーと事例分析

として各部署に配布し注意・喚起を促しています。

### 院内ラウンドを通してマニュアルの徹底と見直しを行っています

医療を安全に行うためには、正しい手順で確実に行うことが重要であり、ベテランと新人での技量の差はあっても、やり方は同じでなければなりません。そのためには、スタッフ全員で業務の統一・標準化が必要であり、病院では、殆どの業務手順を示したマニュアルが整備されています。GRMの業務には、これらのマニュアルが周知・徹底されているか確認すると共に、手順に不備があれば修正を促すことも含まれます。実際に、インシデント報告事例の中には、業務手順自体に問題がある場合もあるため、直接現場でスタッフの声を聴くことは重要です。

### 看護部医療事故防止委員会と協力し患者さんの安全な生活環境の整備を行っています

病院での入院生活は、住み慣れた家庭での生活とは異なります。環境の変化に加え、病気やケガによる体力や運動能力の低下等により、思いがけない転倒やベッドからの転落等の危険があります。転倒・転落による入院期間の延長は、患者さん・ご家族にとってもつらいことです。当院では、GRMと看護部医療事故防止委員が連携し、転倒・転落リスクの視点で院内ラウンドを実施しています。その際には、療養生活における安全な環境整備だけでなく、内服薬の管理などの状況確認も行い、その結果を現場にフィードバックしています。ラウンドで得た情報をもとに担当看護師を交えて対策を検討、その結果を看護計画に反映し日々の看護に活用しています。

### 医療安全文化の醸成のための研修会を行っています

GRMの日々の活動を通して、医療安全に対する啓発を行っています。職員一人ひとりの安全意識の向上と病院全体の安全文化を育むために、年

2回研修会を開催しています。昨年度は、「多職種連携で転倒・転落を防ごう」というテーマで、イラストKYT（危険予知トレーニング）、今年度は「個人情報」をテーマに、自分たちの行動を振り返り、現場の中に潜む個人情報漏洩の危険性について考える研修会を行いました。人間の持つ特性としての「思い込みをする」「見たいものしか見ない」「省略をする」等から「ヒューマンエラー」が発生しやすいことや、患者さんの大切な個人情報をきちんとお守りするための方法を再確認しました。同内容の研修を複数回開催し、全職員が参加できるように工夫しています。

医療安全に関する取り組みの一端を紹介しましたが、実は、その徹底には是非とも患者さん・ご家族のご協力が必要です。患者さんのお名前間違いを防ぐために、病院ではお名前をご自身で名乗っていただくようお願いしています。また、入院された場合はリストバンドを手首に巻いていただき、お名前も名乗っていただいています。体調が悪い時など何回もお名前を聞かれ不快に思われることがあるかもしれませんが、安全な医療を受けるためにぜひご協力をお願いします。

医療安全の基本は、個人が安全に対する意識を高めること、日常業務の中できちんと確認する習慣をつけることです。しかし、個人の注意だけでは限界があるため、病院がひとつの組織として事故対策を考えることが大切です。当院でも、病院全体で医療の質と安全性を高める努力を続けており、今後も、医療事故を起こさないために、医療安全対策室を中心に職員全員で取り組んでいきたいと考えています。



多職種合同でKYT研修

## 今年、クリスマスコンサートを開催しました

12月18日に、サービス改善委員会の企画・運営でクリスマスコンサートが行なわれました。このコンサートは、入院されている患者さんに少しでもクリスマスの雰囲気を感じていただきたいと、今年初めて開催しました。

当日は、総合待合ホールのスチンドグラスの下に舞台を作り、大きなクリスマスツリーも飾られました。クリスマスらしい華やかな雰囲気の中、真っ赤なサンタの



衣装を着けた職員が、患者さんやお見舞いの方など総勢57名をお迎えしました。

コンサートの始まりは、看護師、リハビリスタッフ、放射線技師、事務職員等8名の混成ユニットによるハンドベル演奏で、「きらきら星」「ジングル・ベル」「きよこの夜」の3曲を披露しました。ハンドベルを演奏するのは全員初めてで、交代勤務の中で練習スケジュールを合わせるのが大変だったこともあり、上手く演奏出来るのか当日まで不安でした。演奏の途中で、ハンドベルの音を鳴らすためのクラッパーと呼ばれる玉が外れて飛んでしまうというハプニングもありましたが、曲に合わせて歌ってくださる患者さんもおられ、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

続いて、リハビリスタッフによるクリスマスメドレーと、薬剤科職員2名によるディズニーメドレーのピアノ演奏が行なわれました。明るくノリの良いピアノに合わせて、皆さんも楽しそうに手拍子をされていました。連弾の途中では、手拍子をしながら席を交代すると

いうはなれ業も披露され、会場からはひときわ大きな拍手がわき上がりました。ピアノ演奏の後は、参加者全員で「赤鼻のトナカイ」と「きよこの夜」を合唱。普段あまり声を出されない患者さんが、大きく口を開けてニコニコと歌っていらっやったのがとても印象的でした。

コンサートの最後には、クリスマスプレゼントの抽選会がありました。この抽選会は、院長の発案で急遽決定したもので、抽選に当たった10名の方には、お菓子の詰め合わせ、靴下、蜜柑の香りのハンドクリームなどがプレゼントされました。

初めての企画で不慣れなこともありましたが、参加された患者さんから、満面の笑顔で「とっても楽しかった!」という嬉しいお言葉を頂戴し、賑やかでアットホームなクリスマスコンサートになりました。



からだに効く  
**レシピ**

Point!  
茹で卵の半熟具合はお好みで♪

大洲中央病院栄養科

## 卵丸ごとロールキャベツ

### ■材料 (2人分)

卵	2個	水	300cc
ハム	4枚	塩	少々
キャベツ	2枚	こしょう	少々
コンソメ	1個	黒こしょう	お好みで

### ■作り方

- ① 鍋に水を入れて卵を茹でる。
- ② キャベツは大きいサイズのまま耐熱容器に入れ、ラップをして電子レンジ(600w)で3分加熱。
- ③ キャベツがしんなりしたら、芯を薄くする為、余分な所を切る。
- ④ ③のキャベツの上に、ハムをのせ、その上にゆで卵を乗せる。
- ⑤ ④の上にもう一度ハムをのせ、ゆで卵を覆う。
- ⑥ ⑤をロールキャベツの要領で包み、取れないように爪楊枝で止める。この時ゆで卵に刺さらないように注意する。
- ⑦ ⑥を鍋に並べ水とコンソメを入れ、沸騰したら塩・こしょうで味を整え中火で10分煮込む。
- ⑧ 仕上げにお好みで黒こしょうをかける。



## すぐそばにある絵画 院内美術館 21



『母子』  
大沼 映夫 作

## 独特の人物画様式で 描かれた母子の姿

今回ご紹介するのは、1階売店前にある、リアルな形と抽象的な形の組み合わせによる独自のスタイルで絵画の可能性を追究しつづけてきた、大沼映夫の『母子』。具象なのに抽象を思わせる空気感、異形のたずまい。現実と非現実の両方に投げ込まれた時に、人は言葉を失うしかありません。



大沼映夫 / 1933年東京生まれ / 63年オランダに留学。72年東京芸大教授。85年東郷青児美術館大賞、88年宮本三郎記念賞。

次号は田崎広助  
「浅間山初秋」をご紹介します。

## 健康講座

参加自由  
入場無料

- 会場 大洲中央病院 2階 第一研修室
- 時間 午後2:00~3:00

※都合により内容が一部変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。※場所を変更する場合があります。

### 【開講予定】

- ◎1月25日(休)  
尿酸値が少し高めと言われたら ..... 内科医師  
『笑い』がもたらす効能 ..... 看護師
- ◎2月22日(休)  
骨粗鬆症について ..... 整形外科医師  
レントゲン検査でわかること ..... 放射線技師
- ◎3月22日(休)  
健康診断のススメ ..... 内科医師  
野菜不足解消! 野菜のかしこい食べ方 ..... 栄養士

## 医療ガス研修会を開催しました

10月23日、院内において医療ガス研修会が開催されました。大和酸素工業(株)仙波先生を講師にお招きし、看護部・診療部のスタッフを対象に医療ガスの性質や危険性・取り扱い方法等の基本的なことから、災害時の対処法や事故の事例など、丁寧に教えていただきました。研修に参加したスタッフは、普段からよく使用している医療ガスですが、分かっているつもりでも見逃してしまいそうな注意点や、取り扱いを間違えると大変な事故につながるなど、正しい使い方をすることの重要性を再確認することが出来ました。

この研修会は、毎年定期的に行っています。今後も、より多くのスタッフが参加し、正確な医療ガスの知識と取り扱いを熟知してもらうことで、事故のない安全な病院づくりに努めてまいります。



総務課施設管理 濱田 雅弘

## 世界糖尿病デーでの健康相談会に参加しました

11月12日、大洲市総合福祉センターで、世界糖尿病デーの記念イベントである健康相談会が開催されました。市立大洲病院が主催し、当院からも6名が参加、その他近隣の複数の施設と協働し当日の運営を行いました。

当日訪れた方々は、まずアンケートを記入され、血圧や血糖を測定後、その結果や日頃気になっていることを、各担当スタッフや医師に相談することができました。私たち検査技師や看護師・栄養士・リハビリといったコメディカルも、パンフレットや資料などを用いて、専門的な相談に応じました。また、くろだ歯科クリニックの黒田先生や市立大洲病院から中西先生も参加されました。この日は、130名の方に来ていただき、中には質問内容をメモされていたり、検査結果など持参される方もいらっしゃり、各担当者は丁寧に対応するよう心がけました。

健康相談会は、少しでも地域の皆さんのお役にたてるよう毎年無料で開催されています。来年も多くの方の参加をお待ちしています。

地域連携健康推進委員会(検査技師) 二宮 恵美



## 職員旅行「道後散策の旅」に参加して

11月7日に日帰り道後散策の旅に参加しました。初めての職員旅行であり、大洲駅を出発する時は、多少の緊張感がありました。しかし、一緒に行った先輩方が優しく声をかけて下さり、徐々に緊張の糸もほぐれ、他部署の職員の方とも楽しく会話ができました。

松山駅から道後駅までは久しぶりに市内電車に乗り、車窓からの景色は、とても新鮮でした。

からくり時計での集合写真、道後商店街の散策、伊佐庭神社での参拝と、日頃経験が出来ない事を経験でき、とても楽しい時間を過ごす事ができました。

昼食は、「ふなや」でのとても上品で、美味しい食事を頂き、目もお腹もいっぱいになりました。食事をしながら、他部署の先輩方と趣味やプライベートな話ができ、親睦を深める事ができました。

今回の旅は、終始笑いの絶えない、とても有意義な旅でした。今後も、このような機会があれば、ぜひ参加して、他部署の方々と交流を深めていきたいです。



地域医療連携室 家野 裕也

## 外来診療医師一覧表

診療科目	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	日曜
内科	1診	近藤 誠司	休診日	大久保啓二	大久保啓二	近藤 誠司	大久保啓二
	2診	山上 隆司		山上 隆司	井上 明子	山上 隆司	山上 隆司
	3診	井上 明子		井上 明子	近藤 誠司	大久保啓二	非常勤
	4診			清家 愛理	清家 愛理	竹越 大輔(第2-4)	
外科	1診	森岡 徹	休診日	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹	森岡 徹
	2診	満谷 臨		満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨	満谷 臨
整形外科	1診	栗田 英明	休診日	冲永 昌弘	栗田 英明	冲永 昌弘	冲永 昌弘
	2診						栗田 英明
泌尿器科		清水 公治	休診日	清水 公治	清水 公治	清水 公治	清水 公治
脳神経外科	1診(新患)	西原 潤		西原 潤	瀬野 利太	重川 誠二 末廣 諭 (隔週)	橋本 尚樹(第1-3) 戸田 茂樹(第2-4)
	2診(再診)	瀬野 利太	瀬野 利太	西原 潤			
形成外科			休診日			森 秀樹(第1-3) 松満紗代子(第2-4)	

受付時間 午前8時00分～午前11時30分

診療開始時間 午前9時00分～ 担当医師は緊急手術などで変更する場合がありますので、事前にお問い合わせください。(休診になる場合あり)

休診日 救急診療のみ…2月11日(日)、4月29日(日)

(1～4月) 休診日……………火曜、水曜、1月8日(月)

年末年始……………1月1日(月)～1月3日(水)

お見舞い・面会時間 午後1時00分～午後9時00分

## ◎大洲・喜多地区の一週間の救急当番

- 金～日曜日…大洲中央病院
- 月曜日…市立大洲病院
- 火曜日…市立大洲病院
- 水曜日…加戸病院
- 木曜日…大洲記念病院(昼)、市立八幡浜病院(夜)

## 編集後記

明けましておめでとうございます。早いもので広報誌も今回で53号、年4回発行ですので14年目を迎えました。病院内のあれこれをご紹介してきましたが、その間には電子カルテの導入、病棟再編成、新病院の建設など大きな変革もありました。年々厳しくなる医療制度改革の中で、変わらず当院が目指しているところは、「地域に根差した医療の提供」です。医師不足・看護師不足は継続した問題ではありますが、職員一同協力し、今年も救急医療を頑張っていきたいと思っております。

発行/社会医療法人 北斗会 大洲中央病院

編集/広報委員会

寺尾 光司(事務部長・理事) /  
京河 雅史(放射線科) / 伊場 紀子(看護副部長) /  
道休 由佳里(看護師長) /  
福田 修治(リハビリテーション科) /  
大西 修平(リハビリテーション科) /  
松本 奈緒(総務課) / 岡山 啓子(栄養科) /  
中來田 友里恵(医事課)